

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 18 年 4 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 18 年 1 月～3 月期の実績および平成 18 年 4 月～6 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業＋食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業＋諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業＋食品業部会	30 社	18 社	60.0%
水産業部会	30 社	25 社	83.3%
機械工業部会	30 社	24 社	80.0%
建設業部会	30 社	26 社	86.7%
観光・サービス業＋諸業部会	30 社	23 社	76.7%
合 計	150 社	116 件	77.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

－業況は依然低水準で推移－

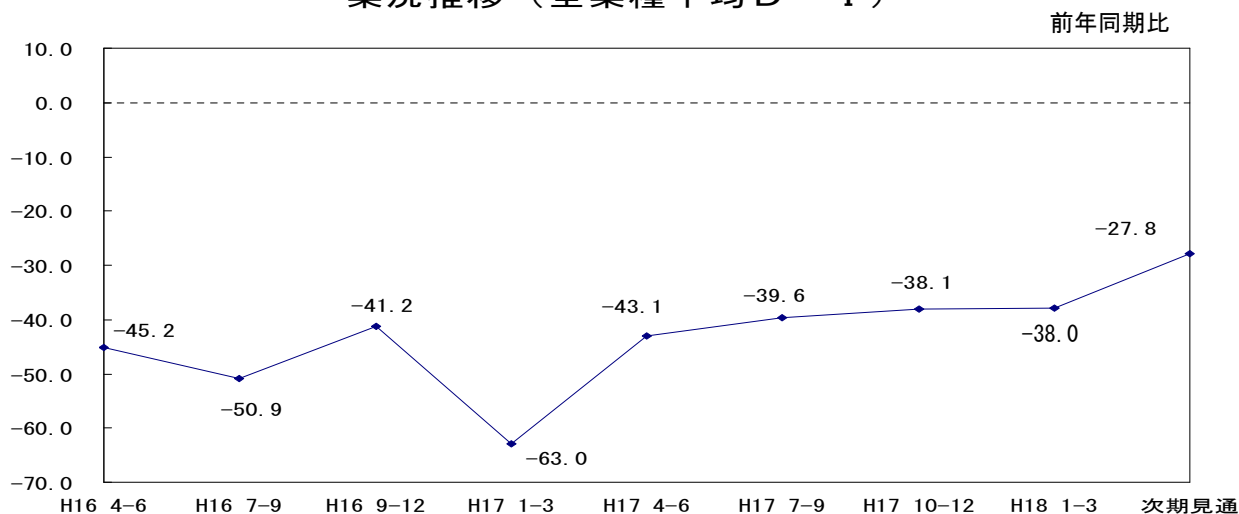
1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成18年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△38.0**と前回調査時の△38.1より0.1ポイント、小幅ながら**4期連続でマイナス幅を縮小**しました。しかしながら依然低い水準で推移しており、その縮小幅もさらに緩やかなものとなっています。

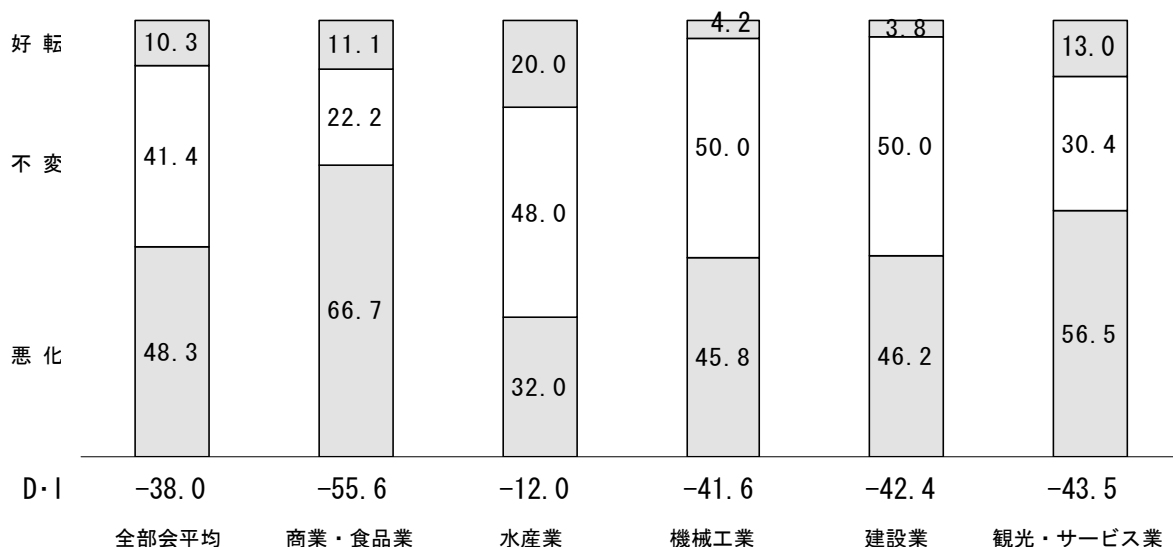
部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△56.5→今期△55.6]、水産業[前期0.0→今期△12.0]、機械工業[前期△46.1→今期△41.6]、建設業[前期△44.0→今期△42.4]、観光・サービス・諸業[前期△39.2→今期△43.5]となりました。前期では0.0ポイントと好転を見せた水産業が悪化へ転じたほか、観光・サービス・諸業においても依然厳しい状況が伺えます。

来期(平成18年4月～6月)については、今期と比べて**業況判断DIが10.2ポイント好転**するとの予測で、特に機械工業においては△41.7→0.0と大幅な改善が予想されており、雪解けとともに経済活動が活発化することが期待されます。

業況推移(全業種平均D・I)



今期の業況(前年同期比)



経営上の問題点としては、依然として景気の低迷による売上の不振を訴える声が多く、同業者間での競争が激化しているとの声が寄せられています。それに加え、旭川市や北見市などの都市間競争による売上・利益の減少を訴える声も寄せられ、紋別市として一体感を持った取り組みが求められています。

設備投資については、先行きの不透明感からか、依然、慎重な動きが続いています。

■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 55.6$ （前期 $\Delta 56.5$ 、来期見通し $\Delta 38.9$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、2期連続で大幅なマイナス値となり、全部会の中で最も厳しい状況で推移しました。しかしながら、春物を中心に売上の回復が期待され、次期の見通しは16.7ポイント改善することが予想されています。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・駐車場の確保。店舗のメンテナンス・化粧直し等のため設備投資を予定。（小売）
- ・北海道そして紋別市が元気になり景気が良くなると、我が業界だけでなく、全ての業界が良くなれない。（小売）
- ・高齢化により働く若者が都会に出て行き、消費が減少しています。（最悪の状態）大型店の出現により客足が少なくなった。（小売）

【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 12.0$ （前期0.0、来期見通し $\Delta 12.0$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期の0.0から $\Delta 12.0$ ポイントへと転じた。事業の閑散期であることに加え、第3四半期が好調であったことの反動が一部で見られました。次期の業況見通しも $\Delta 12.0$ となり、慎重な見通しとなっています。

《業界の問題点等》

- ・灯油・重油の値上がりによるコストの増大。
- ・春先の原料不足が深刻です。

【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 41.6$ （前期 $\Delta 46.1$ 、来期見通し0.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は2期連続で回復し、本年度第2四半期より約30ポイント大幅に改善しました。売上DIも4.8ポイント改善しており、依然マイナスながらも一部で明るい兆しが見受けられます。次期見通しの業況判断・売上の両DIとも0.0となり、より一層の回復が期待されます。

《業界の問題点等》

- ・地方からの競争で利益幅の減少等による経営の悪化と、人口・設備投資・公共投資の減少による経済全体への悪影響を懸念。（機械修理）
- ・紋別市も人口の減少が進めば商売になりません。夢も希望もありません。何とかしなければ…。（車両販売）
- ・工事件数の減少、鋼材の値上がり。（鉄工）
- ・酪農家の牛乳生産調整の為、減産指示あり（H18~20年迄の3年間）売上減少する。（機械販売）

【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△42.4（前期△44.0、来期見通し△57.7）〕

業況判断DI値（前年同期比）は2期連続の悪化からわずかながら回復しましたが、依然厳しい状況で推移しています。来期は本格的な繁忙期を迎えるにもかかわらず15.3ポイント悪化するとの見通しであり、北海道の財政再建問題など、依然続く公共事業の減少を懸念する声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・公共工事の減少（建設）
- ・景気好転の兆しが見えない中、原油価格の影響で資材等が今後さらに値上がりし、利益を圧迫すると思われる。（建設）
- ・公共事業の激減が業界すべてに波及している。（建設）

【観光・サービス部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△43.5（前期△39.2、来期見通し△31.8）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期より4.3ポイント悪化、期待された冬期観光が流氷不在のため伸び悩んだとの声が寄せられています。経営上の問題点としては依然として「得意先（客足）減少」を訴える企業が多く、売上が伸び悩む中、石油製品の値上がりが経営に負担となってきています。

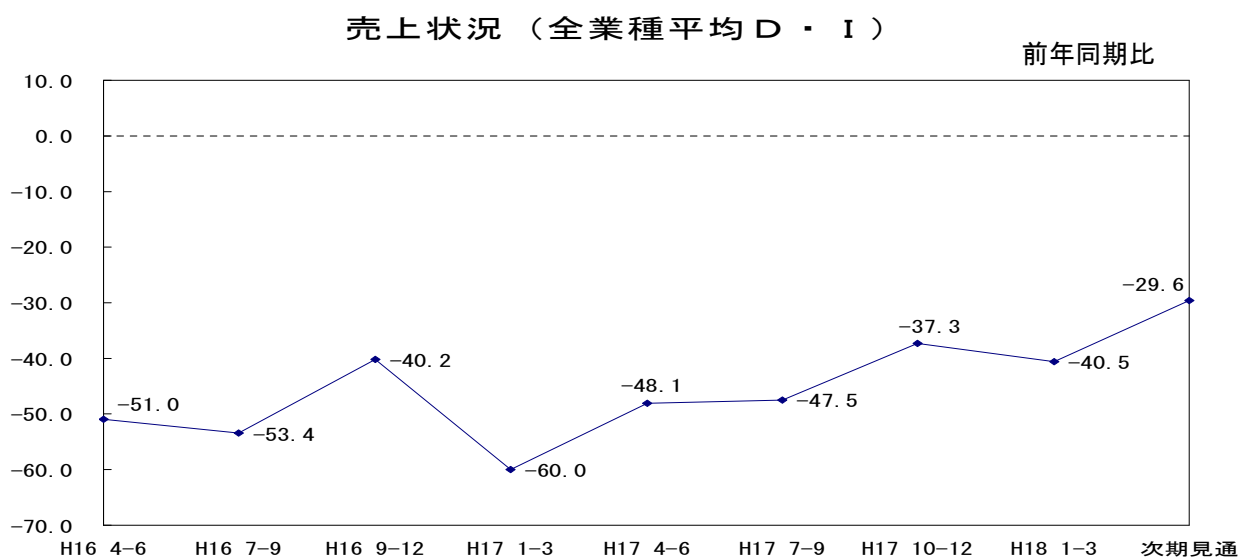
《業界の問題点等》

- ・人口減には歯止めがかかりません。この状況の中で経営の向上は無理であり、設備投資を控え、好期を待ちながら我が商いを守る。（運送）
- ・観光の目玉が直接商店街（中心部）に還元される事がないように思える。通りのシャッターが閉められている点でも不安を感じている。（飲食店）
- ・相変わらず仕入高（飲食店・焼肉）
- ・道都大撤退による売上の大幅減が第一の問題でした。（飲食店）
- ・燃料費の高騰が経費増大の一番の要因。（運送）

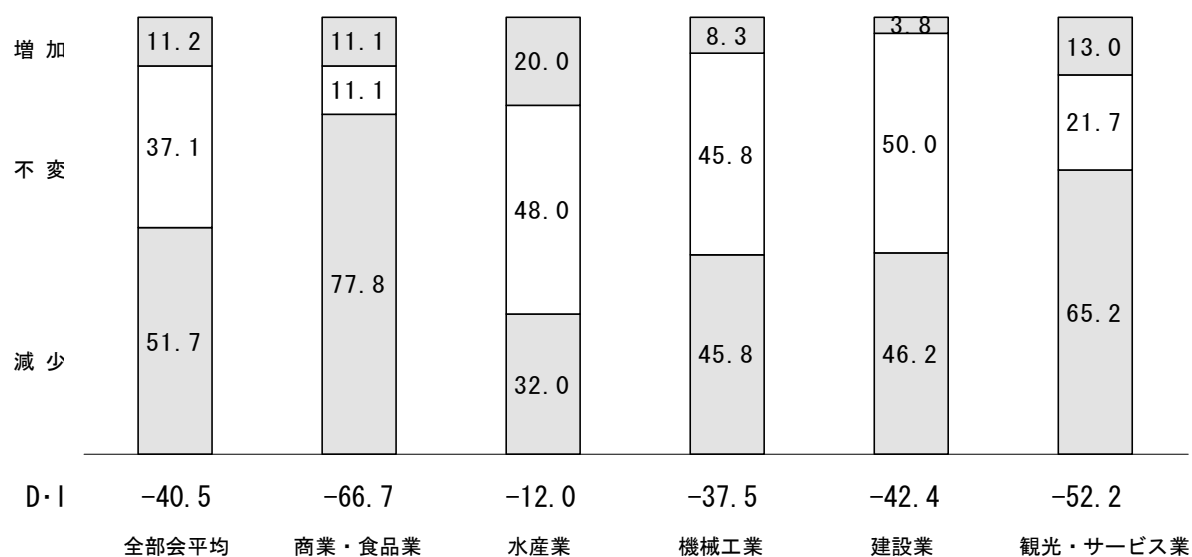
2. 今期の業況

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 17 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）

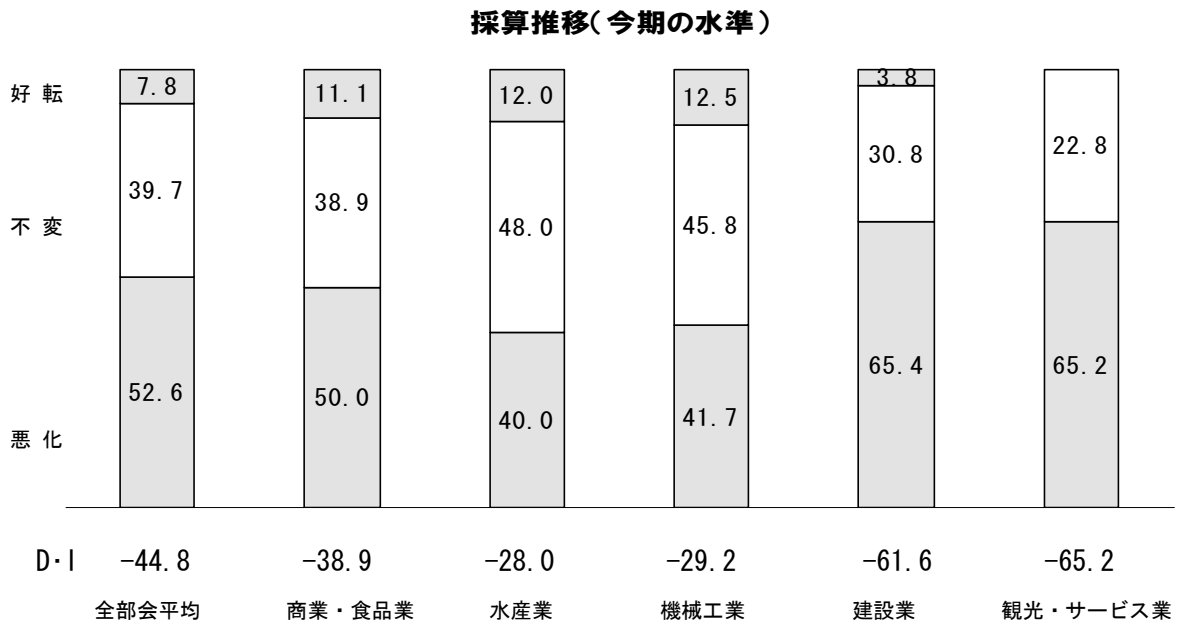
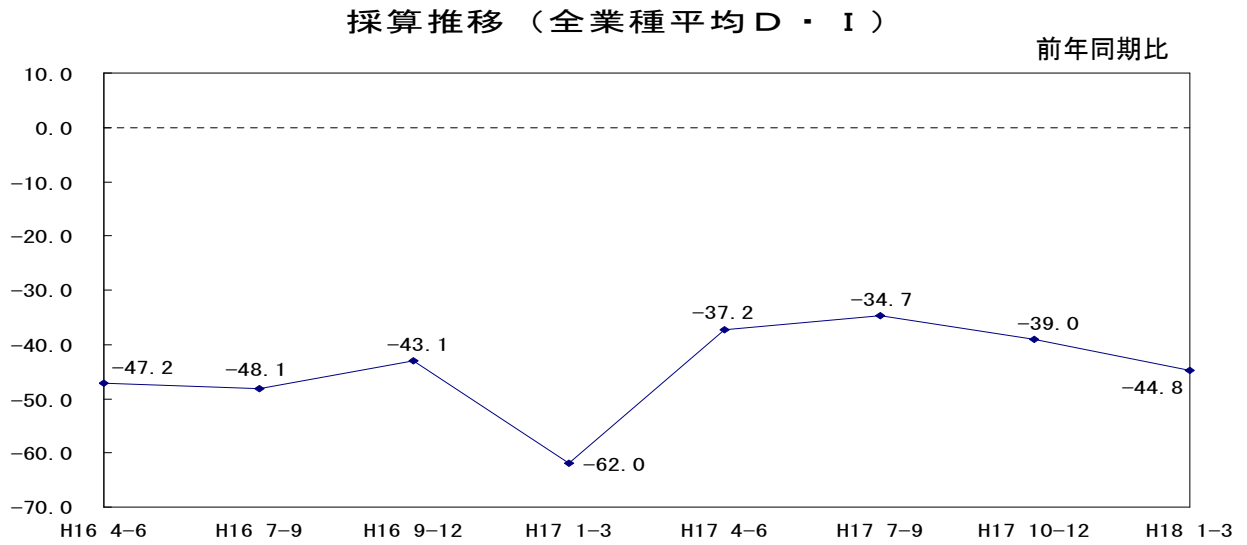


全業種平均でDI値△40.5〔前回調査時（平成 17 年 10～12 月期△37.3）より 3.2 ポイント悪化。前回プラスであった水産業もマイナスへ転じた〕 来期は 10.9 ポイント回復の見込み。

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回△52.2→△66.7〕、水産業〔前回 23.8→△12.0〕
 機械工業〔前回△42.3→△37.5〕、建設業〔前回△56.0→△42.4〕
 観光・サービス業〔前回△52.2→△52.2〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成 17 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の採算水準）

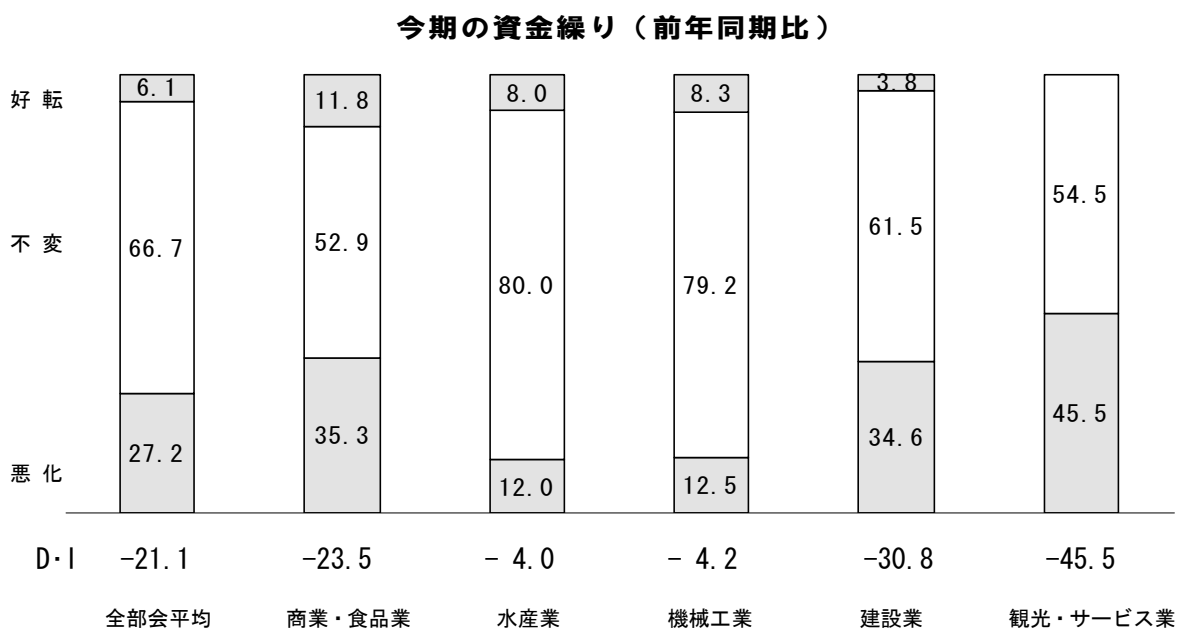
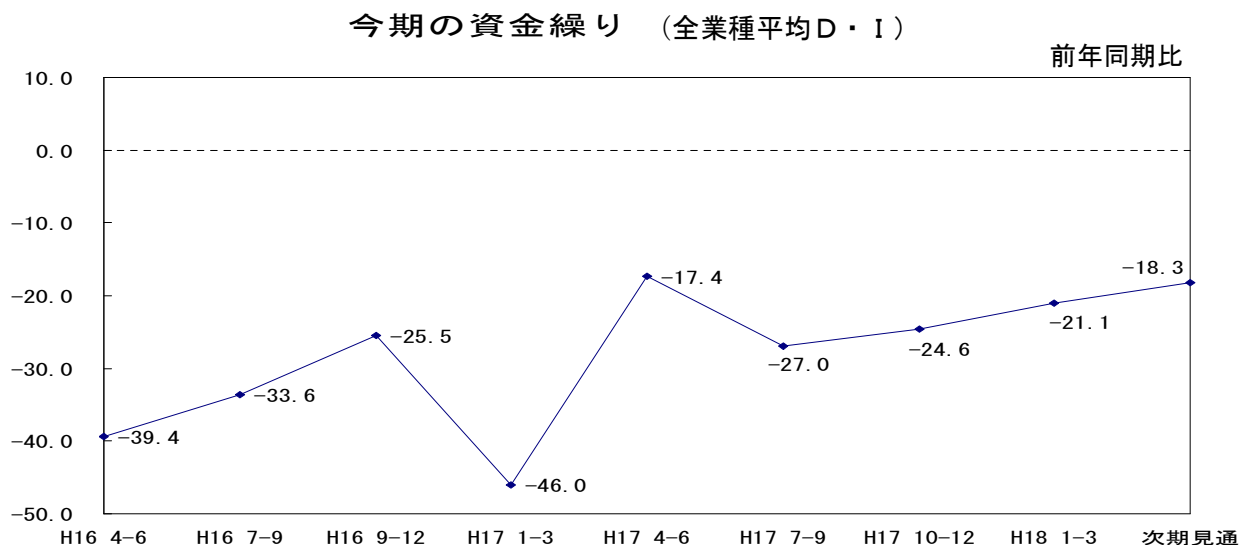


全業種平均で DI 値△44.8〔前回調査時（平成 17 年 10～12 月期△38.9）より 5.9 ポイントマイナス幅を拡大〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回△52.2→△38.9〕、水産業〔前回△ 9.6→△28.0〕
 機械工業〔前回△30.8→△29.2〕、建設業〔前回△56.0→△61.6〕
 観光・サービス業〔前回△43.5→△65.2〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成 17 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の資金繰り）



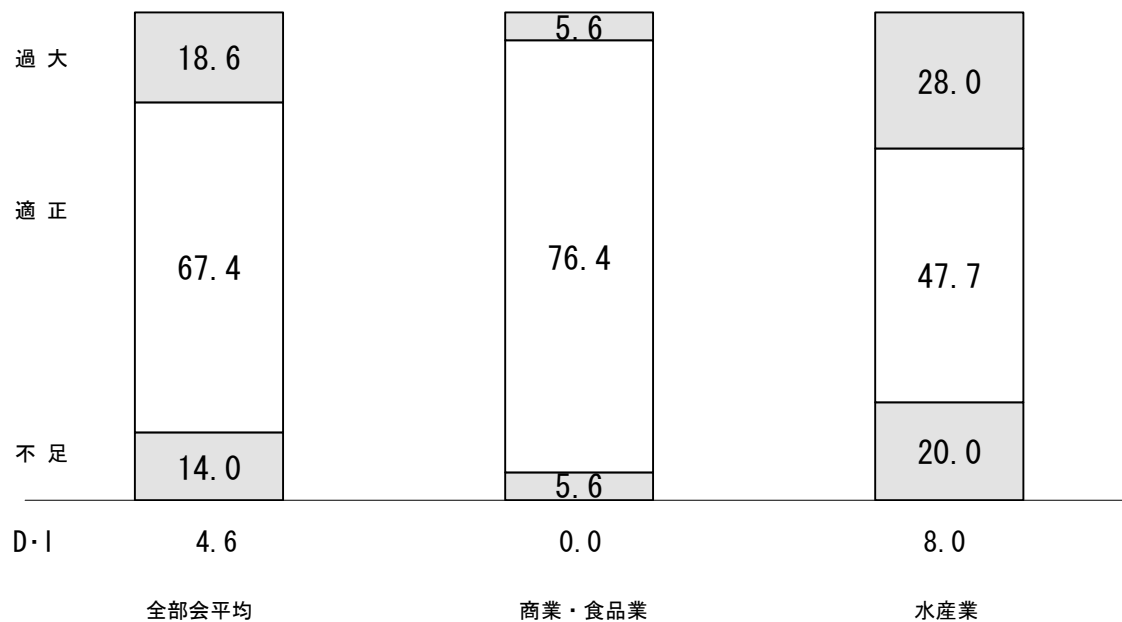
全業種平均でDI値△21.1〔前回調査時（平成 17 年 10～12 月期△24.6）より 3.5 ポイントマイナス幅を縮小〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△34.8→△23.5〕、水産業〔前回 9.5→△4.0〕
 機械工業〔前回△30.8→△4.2〕、建設業〔前回△28.0→△30.8〕
 観光・サービス業〔前回△34.8→△45.5〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 17 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）

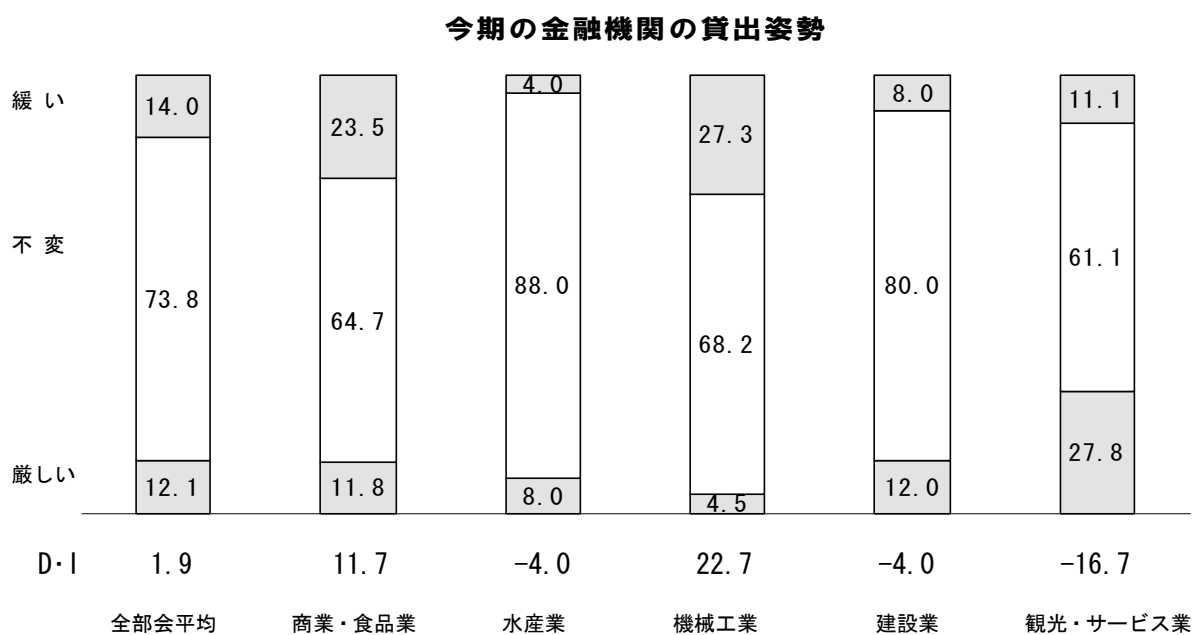


全業種平均で DI 値 4.6〔前回調査時（平成 17 年 10～12 月期 9.3）より 4.7 ポイント改善〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回 8.7→0.0〕、水産業〔前回 10.0→8.0〕

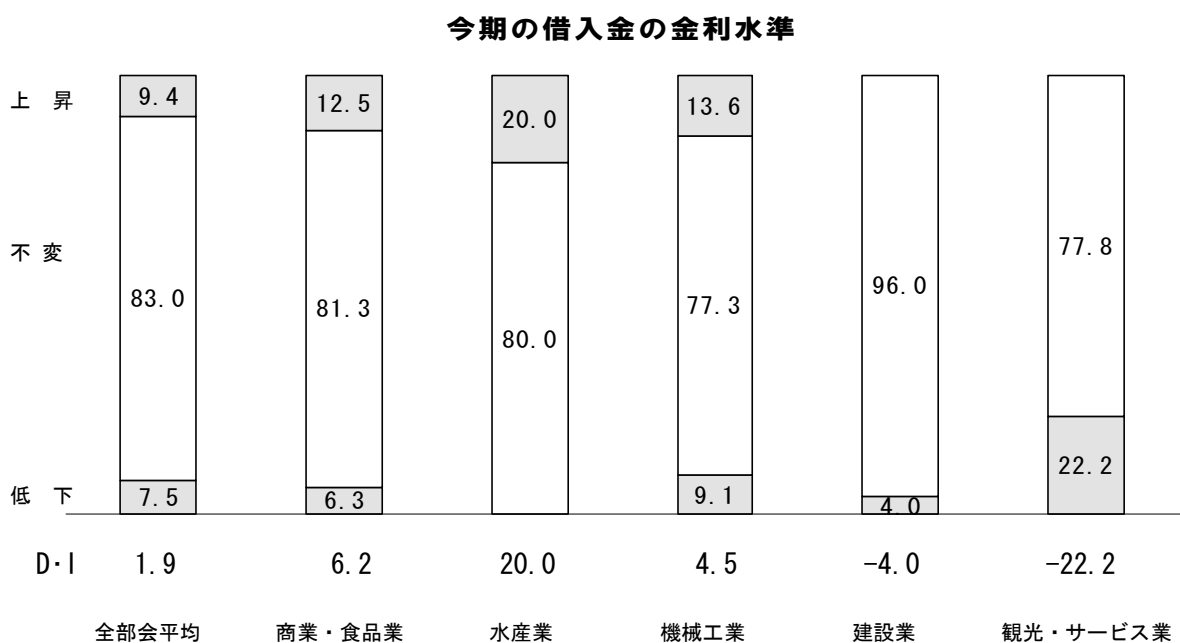
(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成17年1月～3月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



(6) 今期の借入金の金利水準

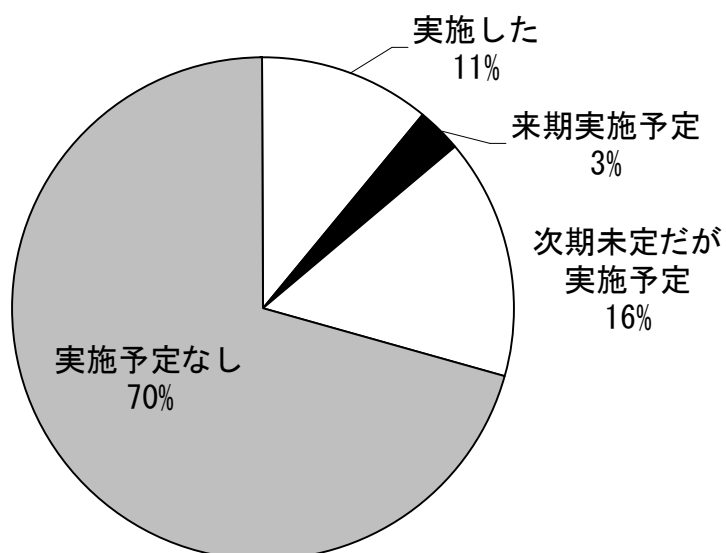
【前年同期比】（平成17年1月～3月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

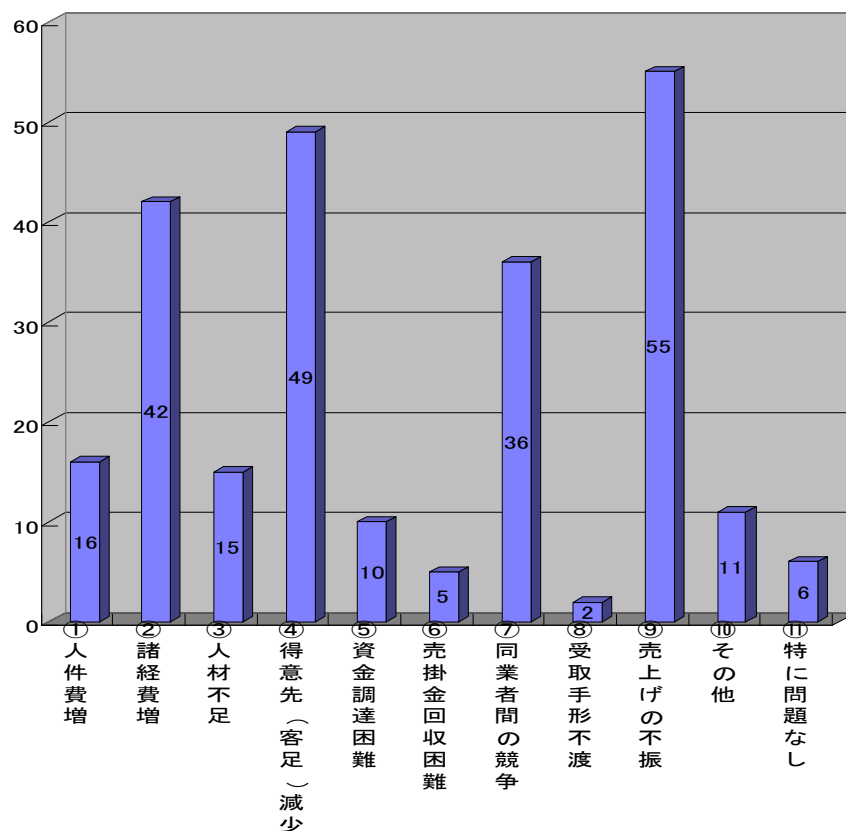
設備投資の実施状況



質問事項	回答数	%
1. 実施した	12	11.0%
2. 来期実施予定	3	2.8%
3. 次期未定だが実施予定	17	15.6%
4. 実施予定なし	77	70.6%
合計	109	100.0%

(8) 今期の経営上の問題点（複数回答）

経営上の問題点



※問題点は複数回答

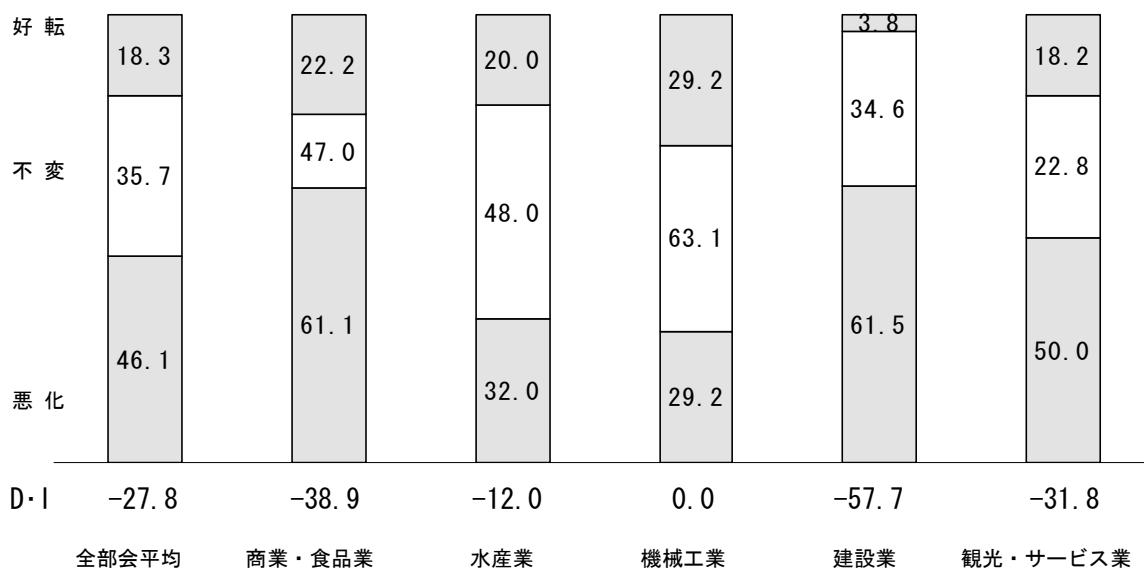
全 体	売上の不振	55 ポイント [前回 64 ポイント]
	得意先(客足)減少	49 ポイント [前回 59 ポイント]
	諸経費の増加	42 ポイント [前回 42 ポイント]
商業・食品業部会	売上の不振	12 ポイント [前回 12 ポイント]
	得意先(客足)減少	11 ポイント [前回 18 ポイント]
	諸経費増	9 ポイント [前回 4 ポイント]
水産業部会	諸経費増	14 ポイント [前回 15 ポイント]
	人材不足	7 ポイント [前回 8 ポイント]
	同業者間の競争	6 ポイント [前回 4 ポイント]
機械工業部会	売上の不振	11 ポイント [前回 13 ポイント]
	得意先(客足)減少	10 ポイント [前回 11 ポイント]
	同業者間の競争	8 ポイント [前回 7 ポイント]
建設業部会	同業者間の競争	17 ポイント [前回 16 ポイント]
	売上の不振	15 ポイント [前回 19 ポイント]
	得意先(客足)減少	10 ポイント [前回 13 ポイント]
観光サービス・諸業部会	得意先(客足)減少	16 ポイント [前回 15 ポイント]
	売上の不振	14 ポイント [前回 16 ポイント]
	諸経費増	11 ポイント [前回 9 ポイント]

3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成 18 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

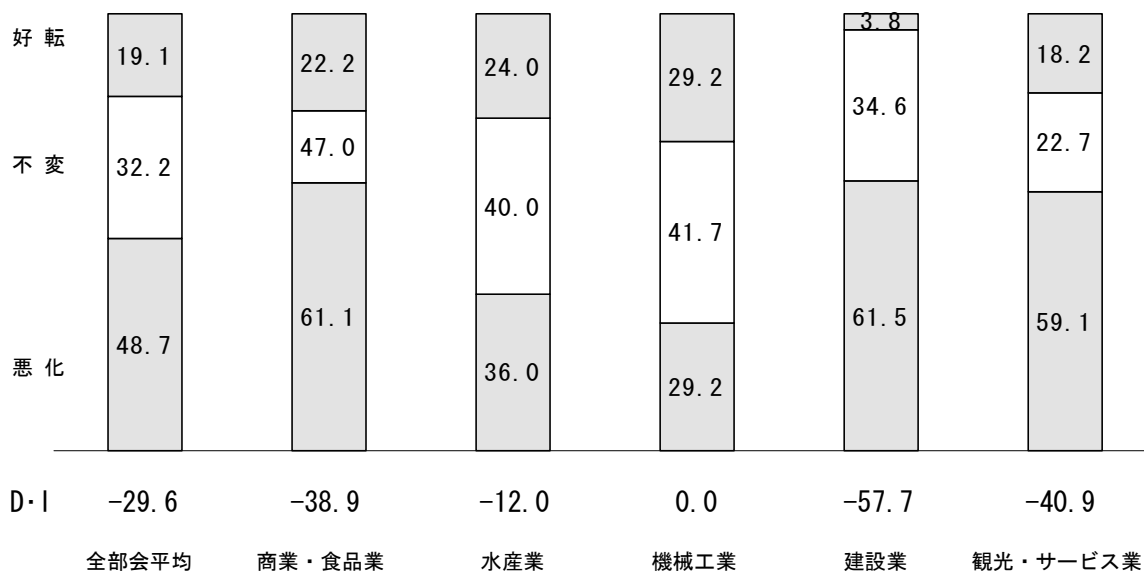


全業種平均 DI 値△27.8 [今期の業況（前年同期比△38.0）より 10.2 ポイント回復の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 18 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

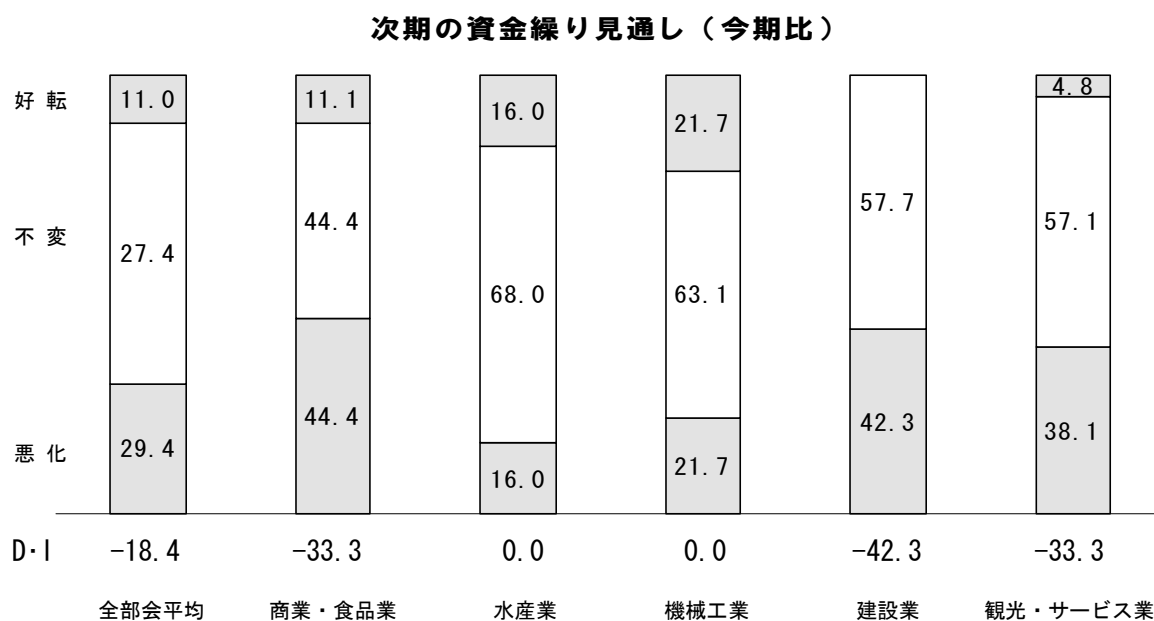
次期の売上高・生産高見通し（今期比）



全業種平均 DI 値△29.6 [今期の売上高・生産高（前年同期比△40.5）より 10.9 ポイント回復の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 18 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値△18.4 [今期の資金繰り（前年同期比△21.1）より 2.7 ポイント改善の見通し]

4. 各指標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 カ ー ビ 入 ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	△38.0	△55.6	△12.0	△41.6	△42.4	△43.5
	来期見通し	△27.8	△38.9	△12.0	0.0	△57.7	△31.8
売上 D・I	今期実績	△40.5	△66.7	△12.0	△37.5	△42.4	△52.2
	来期見通し	△29.6	△38.9	△12.0	0.0	△57.7	△40.9
在庫 D・I	今期実績	4.6	0.0	8.0	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	△44.8	△38.9	△28.0	△29.2	△61.6	△65.2
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	△21.1	△23.5	△4.0	△4.2	△30.8	△45.5
	来期見通し	△18.4	△33.3	0.0	0.0	△42.3	△33.3
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	1.9	11.7	△4.0	22.7	△4.0	△16.7
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	1.9	6.2	20.0	4.5	△4.0	△22.2
	来期見通し	—	—	—	—	—	—